

すくすく のびのび いきいき

令和3年5月 第33号 発行：赤穂市教育委員会 ☎0791-43-6857 FAX 0791-43-6895



コロナ禍における教育とコミュニティ・スクール

教育長 尾上 慶昌

昨年度から本年度当初にかけて、コロナ禍における異例の対応を余儀なくされ、教育・保育の現場や教育関係事業は、危機管理をめくり苦渋の判断をしてまいりました。本年度も様々な不安を抱え、学校行事をはじめとした教育機会の在り方に賛否両論あるなか、国や県の方針を注視し、新たな生活様式への対応と移行に努めているところであります。

教育委員会としましては、コロナ禍のなかであっても、学校園所教育・保育の充実はもとより、青少年の健全育成、生涯学習推進体制の確立等々教育施策を充実させるべく取組を進めなければなりません。コロナ禍を視野に入れた学校教育でより重視されるものは、自立的に生き、自分たちの暮らしや地域や社会を守り創るために発揮される資質・能力であり、これからの時代の初等中等教育に求められるものであると考えられています。

今、国では、その資質・能力について抽象論や理想論ではなく、日本全体で具体的な共通体験を通して探求し、目指すべき資質・能力が深く社会に共有されていく機会であるとして、教育の在り方が模索されています。仮に新型コロナウイルス感染拡大が比較的早期に収束したとしても、後戻りできないのではないかと。周期的に新たな感染者が増加する可能性が大きいのではないかと。変異したウイルスが猛威をふるうかもしれない。その可能性を軽視してはならない。つまり、しばらくはコロナ対応が続くこととなります。

その中において教育委員会ではこの度、平成23年に策定した「赤穂市教育振興基本計画」を見直しました。赤穂の人々が学校園所教育・保育、歴史や文化、スポーツを通じて個性や能力を発揮し、主体的に活躍できる教育環境の整備と地域コミュニティの構築を推進し、新たに次代を担う人づくりを目指します。引き続き教育現場に求められる「3密」を

避ける対策等は必須であり、さらに小中学校におけるGIGAスクール構想の推進体制や教職員の多忙化解消、また、子供たちによりよい教育を提供し、ますます多忙化する学校を地域で支援し、連携を深めるコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の充実は不可欠となります。一人一人の子供たちが周囲の人々との関わりを通して生きる力を身につけていくことの素晴らしさを心から感じ、コロナ禍をはじめとした予測困難な時代に向かって自信をもって生きていく力を培っていけるようにしていくことが、子供たちに関わる私たちの務めであり、地域の皆様、特に学校運営協議会の皆様には、学校園所教育・保育へのご協力、特にコロナ禍における行事への難しい判断へのお力添えをいただきました。学校は地域に支えられ、地域に応援されてこそよりよい教育ができます。学校を地域で支援し、連携を深めるコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）に赤穂市では県内でも先駆けて取り組んできました。赤穂西小学校が赤穂市を代表して文部科学大臣表彰を受ける栄誉をいただくなど全国的にも高い評価をいただいています。この度、市内のすべての小中学校での導入が実現しました。スタートラインに着いたばかりの学校もあるかと思いますが、今後の発展に期待を寄せています。

令和3年度赤穂教育プラン

次ページの「赤穂教育プラン」は、令和2年度に策定した赤穂市教育振興基本計画の施策を実施するために今年度行う取組です。

教育プランは、施策や事業の内容をより具体化し、相互の関連とのつながりを視覚的に表現したもので、市内の教育機関に掲示し、教育の目標としています。

令和3年度

赤穂教育プラン



[赤穂市子育てスローガン]

すくすく（乳児期）

のびのび（幼児期）

いきいき（少年期）

基本理念

“あすの赤穂”をになう こころ豊かで自立する人づくり ～夢と志を育む教育をめざして～

人々が生涯にわたり夢と志をもち、学校教育、歴史や文化、スポーツを通じて個性や能力を発揮し、主体的に活躍できる教育環境の整備と地域コミュニティの構築を推進し、次代をになう自立する人づくりを目指す。

キャリア教育の推進

生涯学習の推進

保育所 幼稚園

小学校 中学校

生涯学習

《学校園所教育の充実》

【小学校・中学校】

- 「確かな学力」を育成するため「主体的・対話的で深い学び」の充実に向けた授業の創造
- 地域とともにある「コミュニティ・スクール」の充実
- 「豊かな心」を育む道徳教育・人権教育の充実
- 一人一人の多様な教育的ニーズに応じた、きめ細かな特別支援教育の充実
- いじめ・不登校等の未然防止、早期発見・早期対応を図る児童生徒理解に基づく生徒指導の充実
- 適切に判断し、命を守り抜く力を育成する防災・安全教育の充実
- 校種間の連携による円滑な接続と系統性を重視した指導の充実
- 「健やかな体」の育成をめざし、健康教育の充実と体力・運動能力の向上
- グローバル化に対応した外国語教育・伝統文化に関する教育の推進
- 新たな社会Society5.0の到来に向けたプログラミング教育の充実
- 感染症対策を講じた上で子どもたちの学びの保障に向けた教育活動の創造

【幼稚園・保育所】

- 「生きる力」の基礎を育む「主体的・対話的な学び」を促す教育・保育の創造
- 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた保育展開と小学校教育への円滑な接続
- 「豊かな心」「人とかかわる力」を育む人権教育の充実
- 一人一人の発達に応じた特別支援教育の充実と関係機関との連携推進
- 子育てに関する情報発信や子育て相談等、保護者・地域とともに歩む保育の実施
- 家庭と連携した乳幼児期に育みたい基本的な生活習慣自立に向けての取組
- 新型コロナウイルス感染症予防に配慮した保育環境の工夫
- 幼保一体化の推進
- 保育者（保育士、幼稚園教諭）の資質・能力向上
- 子育て世帯の経済的負担軽減のため、3歳以上の第3子以降に給食副食費を補助

《給食事業の充実と適正運営》

- 安全な作業環境整備及び衛生管理強化のために、施設修繕、大型調理機器整備等を実施
- 給食施設設備の日常点検と薬剤師による定期点検の実施
- 食中毒及び異物混入防止対策として飛翔昆虫対策等を実施し、安全衛生管理を徹底
- 地産地消の推進として赤穂産の米粉を使った米粉パン及び地元食材を使った赤穂産デー・地場産デーを実施
- 警報発令時対応、アレルギー対応、感染症対応等について学校教育課・学校園との連絡調整の強化
- 子育て世帯の経済的負担軽減のために、第3子以降の学校給食費を補助
- 新学校給食センター整備のための「基本計画」を策定

《図書館事業の充実と適正運営》

- 図書整備の充実のため図書館蔵書を計画的購入
- 読書活動の推進のため歴史文学講座、絵本講座、朗読講座等の実施
- 新着図書案内の発行、話題の本・特集コーナー・ふるさと情報コーナー設置等による図書館情報の提供・発信
- 周辺地区を対象としたブック宅配サービスの利用促進
- 電子図書館サービスの充実のため電子書籍の計画的購入と地域資料の電子書籍化の推進
- 読書通帳による子ども読書活動の推進とブックスタート（絵本との出会い）事業の継続推進
- 東備西播定住自立圏及び播磨圏域連携中枢都市圏域内の連携事業や相互利用の推進
- 開館20周年記念「世界の子ども絵本展」の開催
- 図書館子育て支援充実のためベビーカート等の整備

《生涯スポーツの普及・振興》

- 市政施行70周年記念事業として、市民スポーツ健康推進事業、市民総合体育祭等を開催するとともに、その他協賛事業として各種スポーツ大会を実施
- 忠臣蔵旗少年剣道大会や各種目協会の交流大会等を通じた愛知県西尾市や熊本県山鹿市などの友好親善都市スポーツ交流の実施
- スポーツの日イベント（ランニングクリニック）や少年野球・中学野球・高校野球の親善試合などスポーツの一貫指導と健康とスポーツを機軸としたスポーツ先進都市推進事業の実施
- 体育協会やスポーツ少年団、スポーツクラブ21などの組織活性化と関西福祉大学・赤穂高等学校との連携・協力による団体の育成強化
- 赤穂シティマラソン大会等を通じて、赤穂の魅力と活気あふれる忠臣蔵のふるさと播州赤穂を全国に発信
- 忠臣蔵旗少年剣道大会や赤穂義士杯青少年柔道大会など広域大会の実施
- 市民総合体育館の安全性向上と長寿命化に向けた、個別施設計画の策定
- スポーツ先進都市の実現に向けた赤穂市スポーツ推進計画に掲げる施策の推進

《地域文化の顕彰・整備》

- 赤穂城跡の二之丸石垣修理等の史跡整備の推進
- 伝統文化の調査・保存の推進
- 東有年・沖田遺跡公園復元住居根草替等の文化財施設整備の推進
- 民間宅地開発等に伴う発掘調査の実施、調査報告書の刊行、出土遺物の適正管理
- 田淵氏庭園等の指定文化財の保存・整備推進
- 文化財資料のデジタル化・出土遺物レプリカ制作等による文化財資料の充実整備
- 「文化財をたずねて」等の刊行、文化財説明標柱等整備による保存顕彰の推進
- ホームページによる情報発信、文化財保護連絡員活動による普及啓発を毎月実施
- 赤穂城跡、有年遺跡公園、旧坂越浦会所の施設管理と公開実施
- 有年考古館における特別展・講演会等の実施
- 「図説赤穂市史」の編集、市史史料集シリーズの編集・発行による市史等編さん事業
- 忠臣蔵浮世絵国際シンポジウムの実施等による忠臣蔵浮世絵データベースの活用促進

《施設・設備の充実 生涯学習の充実》

- 中学校（赤穂西中）の大規模改造事業による教育環境の向上
- 小中学校の安全対策を図るために施設整備を実施（プール改修、受変電設備改修）
- デジタル教材やICT機器を効果的に活用した情報教育の推進（GIGAスクール構想の推進）
- 新学習指導要領に対応するための教材整備
- 全小学校区でアフタースクールを実施
- 文化施設の施設整備と資料の収集（利用環境の快適性向上と適切な維持管理、郷土ゆかりの資料収集）

<市民会館関係>

- 文化団体の支援や美術展応募者数の増加促進
- 市民会館施設整備の実施

<公民館関係>

- 高齢者大学の充実と市民のニーズに対応した魅力ある講座・教室の実施
- 公民館施設整備の実施

PDCAサイクル (plan-do-check-action)

学校園所・家庭・地域の連携協力

人権文化の創造



笑顔で子どもに寄り添う

教育長職務代理人
木 曾 文 人

近年、笑うことや笑顔の効果が、医学、心理学など様々な分野で報告されています。よく笑うと長生きするとか、ストレスに起因する病の予防にもなる等です。一方、笑顔を見る側も、相手の笑顔により、自分を受け入れてくれるという感情になるため、自然につられて笑顔になり、脳の活性化などの好影響があるとされています。

なお、作り笑顔も同様の効果があるようです。

さて、コロナが収束していない中、全国的に、学校や家庭での人間関係の葛藤、学習への不安、感染症への恐れ等によって、ストレスを抱えている児童・生徒が増えていると言われています。この時機に、心理的なケアや援助が十分なされないと、不登校等につながるかもしれません。

もし、自分の学校や家庭で、そういう子どもに気づいたなら、まずは、笑顔で子どもに寄り添って欲しいです。即ち、教師、親が、子ども本人が感じているつらさを分かろうとし、子どもが語るそのつらさをしっかり受け止めるということです。

ただし、暗い顔、疲れ切った顔では、子どもは心を開いて語ってくれないかもしれませんね。



今できることを

教育委員
池 坂 め ぐ み

コロナ禍での生活で日常が一変してから、早いもので一年が過ぎました。昨春は学校園の休校園、そしてオリンピックの延期。その他様々な行事などが中止となりました。しかしそんな中でも、今までにない形での行事のあり方を考えたり工夫をしたりして様々なことに取り組んできた一年でもありました。制限のある中でどんな事ができるか、どうしたらいいか知恵を出し合い考える中で、今まで当たり前にかけていた事が当たり前でできるありがたさを改めて感じた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。まだまだ先の見えない生活が続く事が予想されますが、時間は流れ月日が過ぎていきます。困難に立ち向かうのは誰にとっても大変なことです。しかし、それを乗り越えられた時には達成感を感じることができると思います。またその達成感が新たな困難に立ち向かう力になると思います。今はそれぞれの今できることを行い、一日も早いコロナの収束を願いたいです。



今を大切に生きる

教育委員
志 水 矛

春の穏やかな日差しの中、気持ちも新たに新学期が始まりました。コロナ禍でまだまだ油断出来ない日々が続いていますが、白血病からの復帰を果たした競泳の池江璃花子選手のニュースは皆に勇気と希望を与えています。

彼女は、「自分の中にあるネガティブな気持ちが自分の敵」「ひとつのちょっとだけ違った行動だったり考えで運命とか未来って簡単に変わると思っているので、今この瞬間をどう生きるのかどう大切にしていくのが、自分の人生においても誰の人生においても大切なこと」と語っています。

自分にとって都合が良くない状況が起こった時、辛いと嘆くだけでなく、どうすればこの状況が打破できるのか、考えて行動し努力を続ける、それが後々の成功に繋がります。それには教員や保護者、仲間といった周りの人間のサポートが必須であり、教育の大切な役割であると信じています。



戯曲が現実に

教育委員
井 本 学 明

五年前に初演された「アルプススタンドのはしの方」という高校演劇の戯曲があります。兵庫県立東播磨高校の演劇部の顧問藪博晶先生の執筆で、正規部員4人の演劇部のための作品でした。内容は、夏の甲子園1回戦出場の母校の応援に来た高校生4人がそれぞれの思いや心の変化を野球の試合展開に重ねて、アルプススタンドのはしで繰り広げる会話を描いた会話劇です。この作品は、翌年の第63回全国高等学校演劇大会にて最優秀賞を受賞しました。その後、舞台公演があり、昨年七月に映画化されました。そして今年の春の選抜野球に21世紀枠で東播磨高校の初出場が決まりました。試合結果は、1回戦で準優勝した明豊（大分）に延長11回に9-10でサヨナラ負けしました。『アルプススタンドのはしの方』が現実となりました。目標を持って、努力することの大切さを教わりました。